



# 北海道大学 (北海道)

## 北海道で日本語のスキルともうひとつの日本を学ぶ

### ■大学紹介

#### ① 大学の特色及び概要

北海道大学は、我が国における最初の高等農事教育機関として1876年に開設された札幌農学校に始まります。開設当時、札幌農学校は米国マサチューセッツ農科大学長であるウィリアム・S・クラーク博士を迎え、豊かな教養と高度の知識・技術を教授されました。クラーク博士の“Boys, be ambitious”の言葉に代表されるフロンティア・スピリットは、開学以来140年余にわたって本学の建学精神として受け継がれています。1919年、医学部が設置されると同時に従来の農科大学は農学部となり、その後、工学部、理学部等が設置され理科系の総合大学へと発展しました。1947年、文科系の学部が設置され初めて現在の「北海道大学」という名称が誕生、2年後の1949年には、新制の北海道大学が発足し、7学部1教養学科が設置されました。1953年には新制の大学院が設置され、現在12学部、21の大学院及び22の研究所・センター等を有する日本有数の総合大学です。

学部名：  
文学部・教育学部・法学部・経済学部・理学部・  
医学部・歯学部・薬学部・工学部・農学部・獣医学部・水産学部

教員数： 1,963名  
学生数： 学部 11,315名、大学院 6,585名、  
研究所等 157名 計 18,057名

#### ② 国際交流の実績

大学間交流協定数:51カ国・地域、197協定・201機関  
(2023年4月1日現在)

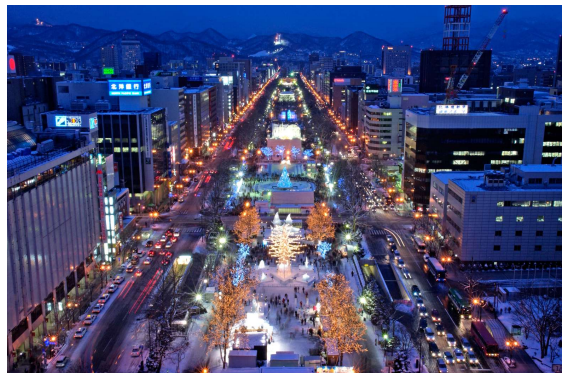
#### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2023年：留学生数2,129人、日研生18人(国費)  
2022年：留学生数2,024人、日研生19人(国費)  
2021年：留学生数2,057人、日研生16人(国費)

#### ④ 地域の特徴

北海道大学は、日本の北部、豊かな自然に恵まれた北海道にあります。大学のメインキャンパスは札幌の市街地にあり、美しい都市において必要なものほとんどは、徒歩圏内にあります。港町である函館市にもう一つのキャンパスを持つ北大は、まさに日本の北方圏における革新的なフロンティアです。

○北海道大学へのアクセス：  
東京 — 札幌間：飛行機で約90分  
大阪 — 札幌間：飛行機で約120分



### ■研修・コースの概要

#### ① 研修・コースの目的

- a)主に日本事情・日本文化に関する研修
- b)主に日本語能力の向上のための研修

#### ② 研修・コースの特色

日本語・日本文化の双方に関する研究・調査活動に役立つ日本語能力の育成と、研究に必要な基礎知識、方法論・技能等の修得・運用を通じた日本語・日本語文化理解を目的とするコースです。プログラムの中で受講生の日本語能力の向上を図り、また、日研選択科目、多文化交流科目、国際交流科目の履修を通じて、日本文化・社会についての多様な指導を行います。

#### ③ 受入定員

40名(大使館推薦15名、大学推薦5名、他私費留学生)



#### ④ 受講希望者の資格、条件等

受入の資格・条件としては、以下の全ての要件を満たすこととします。

##### a. 身分及び専攻

外国(日本国以外)の大学に在籍し、日本語・日本文化に関する専攻課程を主専攻として履修している者。(ただし、1年生を除く)

##### b. 日本語能力

申込時に、中級レベル(日本語能力試験N3以上に合格している者又は同試験の合格者と同等の日本語能力)以上の日本語能力を有する者。

#### ⑤ 達成目標

a. 「話す・聞く・書く・読む」のそれぞれの技能において、各自が自己の目標を達成できるような日本語運用力を身につけること。

b. 各自の研究分野において、まとまった成果が発信できるような知見・日本語力を獲得すること。

#### ⑥ 研修期間(在籍期間)

研修期間：2024年9月下旬～2025年8月下旬  
(在籍期間：2024年10月1日～2025年8月31日)

#### ⑦ 奨学金支給期間

2024年10月～2025年8月

#### ⑧ 研修・年間スケジュール

(第1期：9月～2月)

9月下旬：渡日

9月下旬～10月初旬：オリエンテーション

10月初旬：第1期授業開始

12月末～1月初旬：冬季休業

(第2期：4月～8月)

4月10日頃：第2期授業開始

6月第1金曜日から日曜日まで：大学祭

8月下旬：帰国

#### ⑨ コースの修了要件

第1期及び第2期を通して、選択必修科目(日本語科目)から10単位以上を含み20単位以上修得することを修了要件とします。この要件を満たした者には修了証書を授与します。なお、プレースメントテストにおいて初級レベルと判断された者は、初級クラスの受講となります。初級科目の単位は修了要件に含まれないため、最終的に修了要件を満たさない場合、修了証書は発行されません。

#### ※単位認定、単位互換等について

各期末に学生に対して成績表を交付するとともに、コース終了後、成績証明書を交付します。

#### ⑩ 研修・コース科目の概要・特色

##### 1) 研修・コース科目の特徴

日本語を学習する選択必修科目と、日本語・日本文化に関する講義からなる選択科目により構成されます。

##### 2) 研修・コース開設科目

###### I) 必須科目

区分	授業科目	単位
選択必修科目 (日本語科目)	中級日本語	1又は2
	上級日本語	2

第1期及び第2期を通して、選択必修科目(日本語科目)10単位以上を修得してください。中級日本語科目または上級日本語科目を履修します。それぞれ、日本の大学での研究生生活に必要な「やりとり」「表現」「理解」のスキルを養うことを目的とし、1週間に7～9コマ(1コマ90分)程度履修します。

選択必修科目(日本語科目)のみ、学生が渡日前にオンラインで受験するプレースメントテストによりクラス分けがなされ、日本語能力別に中級レベル及び上級レベルのクラスを受講します。初級レベルと判断された場合は、初級レベルのクラスの受講となり、初級科目の単位は修了要件の単位には含まれません。

#### II) 選択科目

区分	授業科目	単位
選択科目	異文化研究	2
	日本語研究	2
	日本文化研究	2
	特別講義	1, 2, 3又は4
	自主研究	2

選択科目には、日本人との共修科目である「多文化交流科目」(異文化研究)や、「日本語の文法」、「日本語の表記」、「日本の歴史」など日本語・日本文化研修生のためだけの講義科目(日本語研究・日本文化研究)が含まれます。

また、選択科目については、国際交流科目の「国際交流I・II」、全学教育科目又は各学部で開講される専門科目の履修をもって、当該選択科目の履修に代えることができます。

※日本語科目の授業概要は下記ホームページで閲覧が可能です。

北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部  
(<https://isc.high.hokudai.ac.jp/>)

>日本語科目>一般日本語コース

>日本語授業概要

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

選択科目の「多文化交流科目」(異文化研究)は、毎学期10科目前後開講されますが、その中には「北海道大学を発見しよう」など、見学を行う科目も含まれています。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

選択科目の「異文化研究」は留学生と日本人学生が共に学ぶ「多文化交流科目」が主となります。

## ⑪ 指導体制

### ・1) 専任教員

氏名	所属	職名	専攻
小林 由子	高等教育推進機構	教授	日本語教育・学習科学
鄭 惠先	高等教育推進機構	教授	日本語学・社会言語学
平田 未季	高等教育推進機構	准教授	語用論・認知言語学
杜 長俊	高等教育推進機構	准教授	地域日本語教育・会話分析
山畑 倫志	高等教育推進機構	講師	文章表現法・インド哲学
近藤 弘	高等教育推進機構	講師	日本語教育・ライフストーリー研究

### ・2) 個別指導

#### a. 学業面

コース・ディレクターが必要に応じて個別指導を行います。

#### b. 生活面

1年間を通して、カウンセラーが必要に応じて相談業務にあたります。

## ■宿 舎

北海道大学には、恵迪寮(单身男子)、霜星寮(单身女子)、北大インターナショナルハウス(单身、夫婦、家族)の宿舎があり、日本語・日本文化研修生は上記のいずれかへの入居が可能となっています。

【ウェブサイト】

<https://www.oia.hokudai.ac.jp/cier/housing/>



## ■修了生へのフォローアップ

修了生は、出身大学の学部に戻り、本コースにおける日本語・日本文化に関する研修成果を生かし、卒業に向けて学習を継続することになります。

本コース修了生の中には、出身大学を卒業後、日本に戻ってくる人も多くいます。日本で就職した者や本学の大学院修士課程の学生として在籍している者も少なくありません。なかには、本学の教員として採用されている者もいます。

大学院進学希望者に対しては、コース在学中に、ディレクターが相談に応じます。また、日本での就職希望者に対しては、北海道大学のキャリアセンターがセミナーや情報提供を行っています。

また、修了後もSNSなどを通じて交流が続き、「国際的な人間関係ができたこと」を成果としてあげる修了生も少なくありません。



## ■問合せ先

<担当部署>

北海道大学学務部国際交流課

住所：〒060-0815

北海道札幌市北区北15条8丁目

TEL： +81-11-706-8058

FAX： +81-11-706-8067

Email： [jlscsp@oia.hokudai.ac.jp](mailto:jlscsp@oia.hokudai.ac.jp)

<ウェブサイト>

日研コースのホームページ:

<https://www.global.hokudai.ac.jp/admissions/exchange-student-admissions/exchange-programs-in-japanese-jlscsp/>

北海道大学:

<https://www.hokudai.ac.jp/>

担当教員：小林 由子